

## 中学生が選挙啓発に一役！

4月26日に行われる杉並区議会議員選挙を前に、高円寺駅北口の純情商店街の入口に、地元の中学生在が製作した横断幕が掲げられました。横断幕には、「さあ、選挙に行こう！杉並区議会議員選挙」という中学生のメッセージが書き込まれています。

杉並区内の投票率は、平成26年12月の衆議院選挙小選挙区で54.61%、2年前の63.93%から9ポイント以上低下しています。また、平成26年6月の前回の区長選挙の投票率は、28.79%という低投票率となりました。また、近年は20代から30代の投票率が低く、若い世代の選挙離れや、政治への無関心に繋がるのが心配されています。

杉並区選挙管理委員会は、この状況を改善するため、地域の明るい選挙推進委員とともに選挙啓発を行ってきました。また、3月28日には、区議会議員自ら駅頭に立って、投票を呼びかけました。今回は、特に若者が多い高円寺にスポットを当て、その選挙啓発には、地元の高円寺中学校の美術部のメンバーの力を借りることにしました。

3月下旬、当時1・2年生の美術部のメンバー7名が、若者の多い高円寺地域で、もっと選挙に関心を持ってもらおうと、横断幕の製作に取り組みました。縦1m、横7mの大きな幕には、自由をイメージした青空と白い雲、選挙の明るい未来をイメージした7色の投票箱、みどりの多い杉並区をイメージした日めくりカレンダーなどが描かれています。そして真ん中には、「さあ選挙に行こう！！区議会議員選挙」という生徒たちからのメッセージが、大きな紫色の文字で綴られました。



そして、4月15日、高円寺駅北口の純情商店街の大きなアーチに、生徒たちの思いの込められた横断幕が掲示されました。横断幕は、駅からもよく見え、多くの買い物客が利用する場所にあり、PR効果は絶大です。また、中学生たちから「地域を住みやすくするためにも、選挙は絶対に行くべきだし、自分に選挙権があれば、必ず選挙に行きます。」という言葉が聞けることができたことが、何よりも収穫となりました。

### 【問い合わせ先】

選挙管理委員会事務局： 03-3312-2111 内線3804